

9月度木曜例会（2017年9月7日）

夏休み明けの9月の例会は、前半ミネアポリス訪問報告、アメリカ訪問報告、後半は班に分かれてのグループトークキングでした。

まずはミネアポリス訪問に参加されたYさんからのお話

ミネアポリス訪問団は、2017年7月8日～7月18日、参加者11名（夫妻1組、女性8名、男性1名）



「自分はその男性1名で団長として参加しました。

事前にIINのメンバーからアドバイスを頂いていたのが、とても参考になりました。

今回の訪問の主なミッションは市役所訪問と姉妹都市デーに参加する事でした。次にホームステイです。

私はMISCAの会長のカールさん宅にお世話になりました。カールさんはお酒を飲まない人で私は飲む人、どうなる事かと思ったけれど、とても暖かくもてなして頂きました。



参加して良かったと思う事は、沢山の方に出会えたこと、皆で盛り上げて姉妹都市デーに参加した事、ホームステイ体験、ミネアポリスの方たちと一緒にいろんなことをした事です。

残念に思った事は費用が高すぎる事、個人旅行をしている私としては自由時間がなかった事、観光としては良くなかった、街を見たかったがその時間がなかった。男一人参加は淋しかったので、次回、皆さんが参加されるときは友人と二人での参加を勧めたいです。」



詳しい写真はMISCAのホームページにUPされていますので興味ある方はご覧になってください

<https://www.facebook.com/Minneapolis-Ibaraki-Sister-City-Association-MISCA-129381810480923/>

次の K さんは英語のショートストーリーです。farewell party でスピーチされた内容だそうです。その内容とは、

『私はトシを取って冥界に行くことに成りました。エンマさんの前にはたくさん
の死者がいて、エンマさんが順番に「おまえの gift は何か？」と尋ねていま
した。ある人は「私の gift はこのお金です」、他の人は「素晴らしい宝石です」
などと答えていました。私の番が来た時に、「何也没有。ただ、ミネア
ポリスでの良い思い出が沢山あります」と話したら、エンマさんは「OK, you
should go to Heaven」と言われ、「時々戻ってきて話を聞かせてほしい」とも
言いました。そこで私は「時々ミネアポリスの事を話しに来ます」と約束しま
した。たとえば美しい自然、素敵な人達、ホームステイの事、ダルスへの旅行、メアリーさん宅での
本作り・・・を話します』



最後は IIN 会員の岡田さんご夫妻がのべ1ヶ月をかけてアメリカの4都
市を旅して来られたお話です。

サンフランシスコ、デンバー、ミネアポリス、シアトルです。貴重な体
験談の数々は IIN の歴史、そして将来を示す姿そのものです。膨大な内容
ですがほんの一部だけご紹介します。



1) サンフランシスコ

私たちの eldest Chinese son と称する阪大出身の彼から何度も誘いが有り
ました。にもかかわらずなかなかタイミングが合わず延び延びと
成っていましたが今回やっと実現。SFO Airport に迎えに来てく
れました。そこで私たちの荷物をトランクに納めてくれるのです
が全部を、では無くいくつも残っています。えっ、残りはどうす
るの？と思ったら”No problem”にわかにフロントトランクを開
け始めました。何とエンジンがありません。そうなんです、彼の
車“テスラ”の電動車でとてつもなく高額、如何に彼が成功してい
るかの証でした。



2) デンバー

娘夫妻と孫たちの所です。良き祖父母として孫娘の卒業式に出席しました。魚釣り、ロッキーの山々を
周遊、溪谷沿いを走る山岳列車などを家族で満喫して来ました。孫たちの空手の稽古、日本語の勉強、
さらには授業参観もして来ました。





3) ミネアポリス

こちらには少なくとも15回は訪れています。最初は1982年に単身訪問。続いて茨木市長ミネアポリス訪問時に通訳として同行しました。次の市長にもです。今回は Still Water に住む30年来の友人 Claire, Paul 夫妻の所にステイさせていただきました。28年前娘さんが所属するコーラスグループ茨木訪問に同行して以来の長いお付き合いです。彼らの家は見晴らしの良い丘の上にありますそこからは湖も見える絶景でまたその大きさは土地も含め半端ではありません。ウルトラ超豪邸です。

また、Mary, Werner 夫妻や Karl ほか30数名の多くの友人が出席してくださり色々とお話が弾みました。アメリカ人の Pragmatism や Christianity を再認識させられました。



4) シアトル

この地は“なぜ私が姉妹都市活動に関わり始めたのか”を紐解く鍵があるのです。私が大学2年生の時神戸市はシアトルから姉妹都市に関する議員団を迎えました。正式な交渉はプロの通訳が受け持ち、オフタイムのサポーターとして学生が担当する事になり私は市長ご夫妻を担当しました。大変気に入られ、以来家族ぐるみのお付き合いが続いています。茨木市でもミネアポリスとの提携にあたり活動実務に関するアドバイスを市から依頼された折には神戸、シアトルの良いモデル実例を参照したものです。ちなみに茨木市の IFAI メンバー第1,2号は私と主人で、同時に4人の子供たちもサインアップしました。

シアトルでは今回もこちらのお宅にお邪魔して来ました。

We must continue the sister city friendship for many years to come to strengthen World Peace. It should not be like fireworks in the summer night. They are Gorgeous! But a few seconds later they disappear. Our relation should not be like that. Let's maintain our friendship we started through the sister city relation by various ways of communications! Mayor Shigetomi, the first President of IFA said "Continuance is Power."

後半は各班に分かれてグループトークングを行いました。各班はそれぞれに盛り上がっていました。

